

令和6年度 介護保険特別会計の決算の状況

決算の状況は、図4のとおりです。

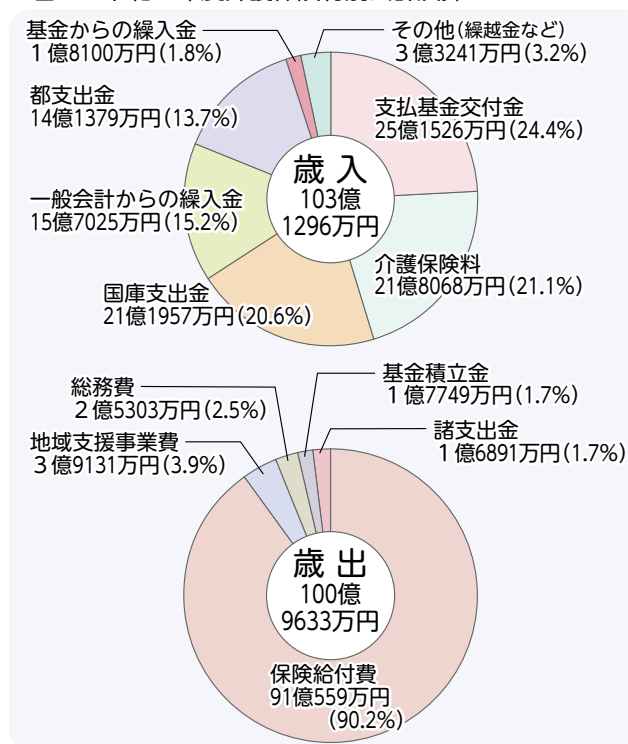
歳入は103億1296万円、歳出は100億9633万円で、2億1663万円が令和7年度への繰越金となります。この繰越金から、6年度分の負担金などの清算として、国や都などに1億2206万円を返還します。

◎歳入

歳入の主なものは、支払基金

交付金(40～64歳の医療保険加入者が納めた保険料)、65歳以上の加入者が納めた保険料、国・都からの負担金・補助金で、歳入の79・8%を占めています。また、保険給付費(市が介護サービス事業者に支払う費用)などの市負担分として、一般会計から15億7025万円、市の介護保険のための基金から1億8100万円を繰り入れま

▼図4 令和6年度介護保険特別会計決算



◎歳出

歳出の主なものは、保険給付費で、全体の90・2%を占めています。残りの9・8%は、地域支援事業費(介護予防・日常生活支援総合事業や地域包括支援センターなどの費用)、総務費(人件費や事務費など)、基金積立金、国・都などへの負担金返還額を含めた諸支出金です。

なお、保険給付費は、50%を加入者が収めた保険料で負担し、残りを公費(国25%、都12・5%、市12・5%)で負担しています。

◎保険給付費が増加

高齢化に伴う介護サービス利用の増加により、5年度と比べて、歳出の保険給付費が3億3918万円増加しました。

◎65歳以上の加入者1人当たりの保険料と保険給付費

65歳以上の加入者1人当たりの保険料は、平均年額7万1944円でした。サービス利用者1人当たりの保険給付費は、施設サービス給付費が平均月額29万6183円、居宅介護サービス給付費が平均月額13万244円でした。

☆詳しくは、介護保険係へ。

令和6年度 後期高齢者医療特別会計の決算の状況

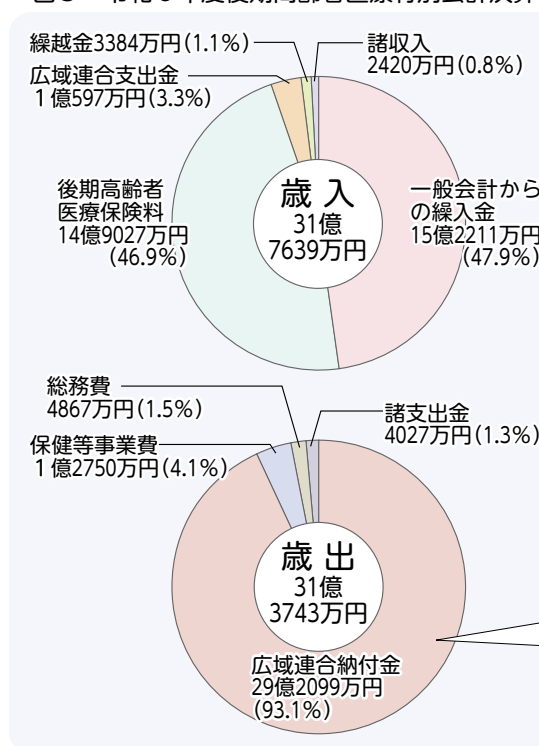
後期高齢者医療特別会計は、東京都後期高齢者医療広域連合が運営しています。

本市における決算の状況は、図5のとおりです。

高齢化に伴う医療費の増加などにより、医療機関に支払う市負担金は増加傾向にあります。医療費を抑制するため、日頃から健康づくりや病気の予防を心がけましょう。

☆詳しくは、後期高齢者医療係へ。

▼図5 令和6年度後期高齢者医療特別会計決算



▼広域連合納付金の内訳

区 分	金 額
保険料負担金	14億7828万円
療養給付費負担金	10億1807万円
保険基盤安定負担金	2億6753万円
保険料軽減措置負担金	1億204万円
事務費負担金	5507万円
合 計	29億2099万円